

中小企業経営者の 景気実感について

景気は、昨年4月の消費税増税による落ち込みを乗り切り、現在は回復軌道にあるとの見方が一般的である。しかし、原材料価格や人件費等が上昇しているのに、個人消費など需要が盛り上がってこないとの声も聞かれる。そこで、中小企業経営者は景気について実際にどう感じているのか、アンケート調査で探ってみた。

調査時点：2015年2月上旬（3日～9日）
調査対象：大阪シティ信用金庫取引先企業
（大阪府内）
調査方法：聞き取り法

依頼先数：1,400社
有効回答数：1,374社
有効回答率：98.1%
有効回答内訳：下の表のとおり

業種	実数	構成比
製造業	566社	41.2%
卸売業	228	16.6
小売業	126	9.2
建設業	211	15.3
運輸業	75	5.5
サービス業	168	12.2
計	1,374	100.0

従業者	実数	構成比
10人未満	882社	64.2%
10～49人	437	31.8
50人以上	55	4.0
計	1,374	100.0

1. 現在の景気について

(1) 景気の実感

- 「足踏み」が5割強

はじめに、すべての企業に対し、自社の経営をとおり、足もとの景気をどのように実感しているか聞いた結果が第1表 - (1)である。

全体として見ると、「回復している」と答えた企業は34.5%だった。これに対し、「足踏み状態」と答えた企業が50.4%と5割強に及び、「悪化している」とする企業は15.1%だった。

これを昨年2月に実施した同じ調査の結果と比較すると、「回復」と答えた企業は12.5ポイント減少し、「悪化」と答えた企業が5.1ポイント増加している。また、「足踏み」と答えた企業も7.4ポイント増加している。

このように、中小企業経営者の景気実感は1年前に比べると後退し、停滞感が強まっている。

業種別に見ると、「回復」とする企業は建設業が49.7%で最も多く、小売業が16.7%で最も少ない。

従業員規模別に見ると、「回復」とする企業は規模が小さくなるほど少なくなっており、50人以上の49.1%に対し、10人未満では30.2%と18.9ポイントの差異がある。

第1表 - (1) 景気の実感

(%)

区分		項目	回復	足踏み	悪化	計
業 種 別	製 造 業		36.4 (48.4)	51.0 (41.6)	12.6 (10.0)	100.0 (100.0)
	卸 売 業		23.6 (35.0)	51.4 (50.0)	25.0 (15.0)	100.0 (100.0)
	小 売 業		16.7 (34.8)	58.7 (50.9)	24.6 (14.3)	100.0 (100.0)
	建 設 業		49.7 (64.4)	40.8 (32.2)	9.5 (3.4)	100.0 (100.0)
	運 輸 業		38.7 (49.4)	52.0 (44.3)	9.3 (6.3)	100.0 (100.0)
	サービ ス業		35.2 (49.4)	52.3 (41.8)	12.5 (8.8)	100.0 (100.0)
規 模 別	10人未 満		30.2 (41.3)	52.4 (47.2)	17.4 (11.5)	100.0 (100.0)
	10~49 人		41.4 (55.3)	47.2 (36.1)	11.4 (8.6)	100.0 (100.0)
	50人 以上		49.1 (63.1)	45.4 (35.4)	5.5 (1.5)	100.0 (100.0)
全 体			34.5 (47.0)	50.4 (43.0)	15.1 (10.0)	100.0 (100.0)

()内は2014年2月調査

(2) 回復を実感する点

- 「売上が増加」が 66.2%

前項(1)で、足もとの景気について「回復している」と答えた企業(474社、34.5%)に対し、具体的にどのような点からそう実感するのか複数回答で聞いた結果が第1表-(2)である。

全体として見ると、「実際に売上が増加してきた」と答えた企業が 66.2%で最も多い。次いで、「商談が増加してきた」が 50.8%と多く、「業界内で明るい話が増えてきた」も 22.8%あった。一方、「販売価格が強含みになってきた」と答えた企業は 8.4%と少なかった。

第1表-(2) 回復を実感する点

(複数回答、%)

区分		項目	売上が増加	商談が増加	業界内で 明るい話	販売価格が 強含み	その他
業 種 別	製造業		71.8	51.0	20.4	6.3	0
	卸売業		66.7	57.4	16.7	7.4	0
	小売業		61.9	23.8	19.0	4.8	0
	建設業		61.0	57.1	25.7	11.4	0
	運輸業		72.4	27.6	13.8	20.7	0
	サービス業		54.2	54.2	37.3	6.8	0
規 模 別	10人未満		62.8	52.3	22.9	8.3	0
	10~49人		69.6	48.6	21.5	8.3	0
	50人以上		77.8	51.9	29.6	11.1	0
全 体			66.2	50.8	22.8	8.4	0

(3) 悪化を実感する点

- 「売上が減少」が 60.4%

前項(1)で、足もとの景気は「悪化している」と答えた企業(207社、15.1%)に対し、具体的にどのような点からそう実感するのか複数回答で聞いた結果が第1表-(3)である。

全体として見ると、「売上が減少してきた」と答えた企業が 60.4%で最も多い。このほか、「販売価格が弱含みになってきた」とする企業が 45.9%、「業界内で暗い話が増えてきた」が 44.0%となっており、また「商談が減少してきた」も 26.6%あった。

第1表-(3) 悪化を実感する点

(複数回答、%)

区分 \ 項目		売上が減少	販売価格が弱含み	業界内で暗い話	商談が減少	その他
業種別	製造業	66.2	42.3	32.4	26.8	0
	卸売業	57.9	50.9	52.6	24.6	0
	小売業	71.0	48.4	38.7	12.9	3.2
	建設業	55.0	45.0	60.0	35.0	0
	運輸業	28.6	42.9	57.1	28.6	0
	サービス業	47.6	42.9	47.6	42.9	4.8
規模別	10人未満	61.7	43.5	48.1	26.0	1.3
	10~49人	58.0	54.0	32.0	28.0	0
	50人以上	33.3	33.3	33.3	33.3	0
全体		60.4	45.9	44.0	26.6	1.0

2. アベノミクスについて

(1) 期待の状況

- 「期待している」が 73.7%

すべての企業に対し、アベノミクスへの期待について聞いた結果が第2表 - (1)である。

全体としてみると、「大いに期待している」と答えた企業は 9.1%にとどまるが、「ある程度期待している」と答えた企業が 64.6%あり、これら「期待している」とする企業の合計は 73.7%にのぼる。一方、「期待していない」と答えた企業は 26.3%だった。

業種別に見ると、「期待している」と答えた企業は建設業が 84.8%で最も多いのに対し、卸売業が 61.4%で最も少ない。

なお、アベノミクスに関して 2013 年 7 月に行った調査では「期待している」と答えた企業が 75.1%あった(参考表)。質問の仕方が異なるため単純には比較できないが、中小企業経営者の期待度は変わらず高い水準を維持していると見られる。

第2表 - (1) 期待の状況

区分		項目				計	+ 期待している
		大いに期待している	ある程度期待している	期待していない	(%)		
業種別	製造業	7.1	66.4	26.5	100.0	73.5	
	卸売業	7.9	53.5	38.6	100.0	61.4	
	小売業	8.7	63.5	27.8	100.0	72.2	
	建設業	12.8	72.0	15.2	100.0	84.8	
	運輸業	10.7	61.3	28.0	100.0	72.0	
	サービス業	12.5	66.1	21.4	100.0	78.6	
規模別	10人未満	7.8	61.6	30.6	100.0	69.4	
	10~49人	11.7	70.0	18.3	100.0	81.7	
	50人以上	9.1	69.1	21.8	100.0	78.2	
全体		9.1	64.6	26.3	100.0	73.7	

(参考表) アベノミクスに対する期待度

項目	期待度				計	+ 期待している
	変わらず期待している	弱まったが期待している	不安の方が大きくなった	期待していない		
全体	22.1	53.0	15.2	9.7	100.0	75.1

2013年7月調査

(2) 期待できない理由

- 「景気が良くならない」が 85.1%

前項(1)でアベノミクスについて「期待していない」と答えた企業(362社、26.3%)に対し、その理由を複数回答で聞いた結果が第2表-(2)である。

全体として見ると、「思ったほど景気が良くならないから」と答えた企業が85.1%と大多数を占めている。このほか、「思ったほど自社の業績が良くならない」と答えた企業が38.7%あり、「円安が大幅に進み困る」が17.7%、「デフレから脱却できない」が15.7%、「思ったほど株価が上がらない」が4.4%などとなっている。

第2表 - (2) 期待できない理由

(複数回答、%)

区分		項目	思ったほど 景気が良くなら ない	思ったほど 自社業績が 良くならない	円安が大幅 に進み困る	デフレから 脱却できない	思ったほど 株価が上がら ない	その他
業 種 別	製 造 業		84.7	40.7	14.0	13.3	5.3	0
	卸 売 業		76.1	44.3	37.5	18.2	3.4	1.1
	小 売 業		82.9	48.6	14.3	2.9	5.7	0
	建 設 業		100.0	28.1	9.4	31.3	6.3	3.1
	運 輸 業		100.0	19.0	9.5	9.5	0	0
	サービス業		88.9	27.8	0	22.2	2.8	2.8
規 模 別	10人未満		85.2	38.9	15.9	15.2	3.0	0.4
	10~49人		85.0	38.8	23.8	18.8	7.5	2.5
	50人以上		83.3	33.3	16.7	8.3	16.7	0
全 体			85.1	38.7	17.7	15.7	4.4	0.8

3. 景気の見通し

(1) この先1年の景気

- 「回復していく」が 54.9%

すべての企業に対し、今後1年程度の景気をどのように予想するか聞いた結果が第3表-(1)である。

全体として見ると、「回復していく」と答えた企業が 54.9%で最も多い。これに対し「停滞する」と答えた企業が 42.0%、「悪化していく」は 3.1%だった。

業種別に見ると、「回復」と答えた企業は建設業が 69.7%で最も多く、小売業が 39.7%で最も少ない。

従業員規模別に見ると、「回復」と答えた企業は規模が大きくなるほど多く、10人未満の 50.2%に対し、50人以上では 72.7%となっている。

第3表 - (1) この先1年の景気

(%)

区分		項目	回復していく	停滞する	悪化していく	計
業 種 別	製 造 業		56.8	41.3	1.9	100.0
	卸 売 業		40.8	53.9	5.3	100.0
	小 売 業		39.7	54.7	5.6	100.0
	建 設 業		69.7	27.5	2.8	100.0
	運 輸 業		53.4	45.3	1.3	100.0
	サービ業		61.9	35.1	3.0	100.0
規 模 別	10人未満		50.2	46.6	3.2	100.0
	10～49人		62.2	34.6	3.2	100.0
	50人以上		72.7	27.3	0	100.0
全 体			54.9	42.0	3.1	100.0

(2) 景気の懸念材料

- 「原材料価格の高騰」が 59.8%

最後に、すべての企業に対し、今後 1 年程度の景気の懸念材料をどう考えるか複数回答で聞いた結果が第 3 表-(2)である。

全体として見ると、「原材料価格等の高騰」と答えた企業が 59.8%で最も多いが、「電気料金の値上げ」も 51.1%と 5 割を超えている。このほか、「個人消費など内需の低迷」が 47.6%、「人件費の高騰」が 20.8%、「人手不足」が 17.3%、「外需の低迷」が 8.3%となっている。

第 3 表 - (2) 景気の懸念材料

(複数回答、%)

区分		原材料価格 高騰	電気料金 値上げ	内需の 低迷	人件費 高騰	人手不足	外需の 低迷
業 種 別	製 造 業	63.1	67.0	43.8	15.1	13.5	10.6
	卸 売 業	73.2	38.6	56.1	14.9	9.2	12.3
	小 売 業	40.5	49.2	67.5	19.8	11.1	2.4
	建 設 業	63.5	36.5	35.6	36.1	32.2	4.3
	運 輸 業	64.9	23.0	39.2	37.8	36.5	5.4
	サービス業	38.3	46.1	52.7	22.8	18.6	5.4
規 模 別	10人未満	58.2	50.1	49.3	17.2	14.6	6.7
	10~49人	62.2	50.9	45.4	26.4	22.5	11.7
	50人以上	67.3	67.3	38.2	34.5	18.2	5.5
全 体		59.8	51.1	47.6	20.8	17.3	8.3